

# 報告の作成事例

(灯油、都市ガス、電気を使用している場合)

- 1 法人等の名称 **こつこつさくげん**  
**コツコツ削減 株式会社**
- 2 作成する報告書 **令和 7 年度**の地球温暖化対策実施状況  
(=実施年度)
- 3 計画書の計画期間 **令和 7 年度 ~ 令和 9 年度**  
(基準年度 = 令和 6 年度)
- 4 実施年度の温室効果ガス排出量の算定で用いる電気事業者の排出係数  
( 令和 6 年度の電力排出係数)



この係数は毎年度変更となります。

下記サイトで確認し、④別表6で入力した上で、計画書を作成してください。

<https://policies.env.go.jp/earth/ghg-santeikohyo/calc.html>

(当該サイトの「令和 8 年提出用」のPDFファイルのうち、  
該当する電気事業者及び**基礎排出係数**を④別表6に入力して作成してください。)

この順番で入力  
してください。

## 入力方法

※全シート共通：**色付きセルのみ入力してください**

- STEP 1 【①基本情報】(このシート)に必要な事項を入力する。
- STEP 2 【②報告書表紙】に必要な事項を入力する。
- STEP 3 【③(別紙)事業所一覧】に香川県内の事業所を入力する。
- STEP 4 【④別表6】にエネルギー使用量(自動車使用に伴うもの以外)を入力する。  
【⑤別表5】にエネルギー使用量(自動車使用に伴うもの)を入力する。  
【⑤別表5】にエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出量を入力する。
- STEP 5 【⑥様式1】に必要な事項を入力する。

※入力の際に不都合等がありましたら、下記までご連絡ください。

香川県環境森林部環境政策課 カーボンニュートラル推進室 TEL 087-832-3215

E-mail kankyoseisaku@pref.kagawa.lg.jp

かがわ中小事業者CO2削減支援補助金に基づき提出いただく報告書については、メールもしくは郵送にてご提出ください。

**※電子申請・届出システムは提出に使用しないでください。**

<提出・お問合せ先>

〒760-8570 香川県高松市番町四丁目1番10号

香川県環境森林部環境政策課 カーボンニュートラル推進室

E-mail:kankyoseisaku@pref.kagawa.lg.jp

電気事業者の排出係数は、  
こちらのサイトで確認できます。

- ・四国電力㈱ ((参考値)事業者全体)  
[0.000448 \(t/CO2/kWh\)](#)
- ・中国電力株式会社 ((参考値)事業者全体)  
[0.000472 \(t/CO2/kWh\)](#)

地球温暖化対策実施状況報告書

令和 8 年 7 月 10 日

香川県知事 殿

報告者

住所 香川県高松市番町〇〇〇

氏名 コツコツ削減 株式会社

代表取締役

〇〇 〇〇

香川県生活環境の保全に関する条例第94条第5項の規定により、地球温暖化対策計画に記載した事項の実施状況について、次のとおり報告します。

事業者の主たる業種	92 その他の事業サービス業	
事業者の種類	<input type="checkbox"/> 香川県生活環境の保全に関する条例施行規則第64条第1号に該当する事業者 <input type="checkbox"/> 香川県生活環境の保全に関する条例施行規則第64条第2号に該当する事業者	
事業の概要	イベントの企画・運営	
事業所の名称及び所在地	別紙1のとおり	
地球温暖化対策計画に記載した事項の実施状況	様式2のとおり	
実施状況の公表予定年月日	令和 年 月 日	入力しない。
実施状況の公表の方法	公表場所： 入力しない。	
連絡先	担当部署	〇〇課
	担当者	〇〇 〇〇
	電話番号	087-800-0000
	FAX番号	087-800-1000
	電子メールアドレス	#####@####.jp

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とすること。

事業所の名称及び所在地

No.	名称	所在地	種類
①	第一種エネルギー管理指定工場等及び第二種エネルギー管理指定工場等		
1	〇〇事業所	高松市番町〇〇〇	***
2			
3			
4			
5			
6			
②	その他の事業所		
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			
33			
34			
35			
36			
37			
38			
39			
40			
41			
42			
43			
44			
45			
46			
47			
48			
49			
50			

補助対象設備を導入した事業所について、①の欄に入力してください。  
※香川県内のすべての事業所について入力する必要はありません。

入力しない。

地球温暖化対策計画に記載した事項の実施状況

実施期間		令和 7 年度					
温室効果ガスの排出の抑制等のために実施した措置の内容		従業員向けの省エネルギーに関する講座を実施し、業務における省エネの考え方や取組内容の周知を行うことで、従業員の自主的な省エネ行動の定着を促した。					
		実施した措置の内容を記載してください。					
温室効果ガスの吸収等	区 分			実施年度 (令和 7 年度)			
				二酸化炭素換算 (t)			
	<input type="checkbox"/>	森林の整備等				t-CO <sub>2</sub>	
	<input type="checkbox"/>	経済的手法の活用				t-CO <sub>2</sub>	
		グリーン電力証書の購入				t-CO <sub>2</sub>	
		グリーン熱証書の購入				t-CO <sub>2</sub>	
		オフセット・クレジットの購入				t-CO <sub>2</sub>	
		国内クレジットの購入				t-CO <sub>2</sub>	
		J-クレジットの購入				t-CO <sub>2</sub>	
		非化石証書の購入				t-CO <sub>2</sub>	
合 計			①			t-CO <sub>2</sub>	
温室効果ガスの排出の抑制の量の削減実績	区 分	基準年度 (令和 6 年度)	目標年度 (令和 9 年度)	対基準 年度比 (%)	実施年度 (令和 7 年度)	対基準 年度比 (%)	
	温室効果ガス 排出量	(二酸化炭素換算 (t))② 13 t-CO <sub>2</sub>	(二酸化炭素換算 (t)) 11 t-CO <sub>2</sub>	84.6	(二酸化炭素換算 (t))③ 12 t-CO <sub>2</sub>	92.3	
	<input checked="" type="checkbox"/> 差引排出量 A	(二酸化炭素換算 (t))② 13 t-CO <sub>2</sub>	(二酸化炭素換算 (t)) 11 t-CO <sub>2</sub>	84.6	(二酸化炭素換算 (t))③-① 12 t-CO <sub>2</sub>	92.3	
	<input type="checkbox"/> 原単位排出量 A/B						
	温室効果ガス排 出量と密接な関 係を持つ値 B						
排出量等の増減理由	従業員の省エネに対する意識が徐々に向上し、日常業務における節電や設備の適切な使用といった取組が浸透したことにより、排出量等に一定の変動が生じた。						
特記事項							

(注)

1 「基準年度」欄及び「目標年度」欄には、地球温暖化対策計画書（当該計画書を変更した場合にあっては、変更後の地球温暖化対策計画書）に記載した数値を転記すること。

2 「温室効果ガスの吸収等」欄については、これらの措置を実施したときは該当する□にレ印を記入し、「二酸化炭素換算 (t)」欄に値を記入すること。

3 「増減理由」欄については、実施年度の数値が基準年度の数値よりも増加・減少した理由（計画期間の最終年度に係る報告にあっては、削減目標が達成できた・達成できなかった理由を含む。）を記入すること。

4 「特記事項」欄には、「温室効果ガスの排出の抑制等のために実施した措置の内容」欄に記載したもののほか、地球温暖化の防止のために取り組んだこと等を記入すること。

【別表6】

(令和7年度)

事業所名 **コソツコ創減株式会社 ○○事業所**

エネルギーの種類	エネルギー使用量		販売されたエネルギーの量		H=E-G (GJ)	二酸化炭素排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
	数値 D	単位	数値 F	単位		
原油(コンデンセートを除く)		kL		kL		
原油のうちコンデンセート(NGL)		kL		kL		
揮発油(ガソリン)		kL		kL		
ナフサ		kL		kL		
ジェット燃料		kL		kL		
灯油	0.095	kL	3	kL		3 0.2
軽油		kL		kL		
A重油		kL		kL		
B-C重油		kL		kL		
石油アスファルト		t		t		
石油コークス		t		t		
液化石油ガス(LPG)		t		t		
石油系炭化水素ガス		千m <sup>3</sup>		千m <sup>3</sup>		
可燃性天然ガス		t		t		
液化天然ガス(LNG)		t		t		
天然ガス		千m <sup>3</sup>		千m <sup>3</sup>		
その他可燃性天然ガス		千m <sup>3</sup>		千m <sup>3</sup>		
輸入原料炭		t		t		
コークス用原料炭		t		t		
吹込用原料炭		t		t		
輸入一般炭		t		t		
国産一般炭		t		t		
輸入無煙炭		t		t		
石炭コークス		t		t		
コールタール		t		t		
コークス炉ガス		千m <sup>3</sup>		千m <sup>3</sup>		
高炉ガス		千m <sup>3</sup>		千m <sup>3</sup>		
発電用高炉ガス		千m <sup>3</sup>		千m <sup>3</sup>		
転炉ガス		千m <sup>3</sup>		千m <sup>3</sup>		
その他の燃料						
小計 ①						0.2
都市ガス	0.53	千m <sup>3</sup>				1.1
小計 ②						1.1
黒液		t		t		
木材		t		t		
木質廃材		t		t		
バイオエタノール		kL		kL		
バイオディーゼーゼル		kL		kL		
バイオガス		千m <sup>3</sup>		千m <sup>3</sup>		
その他バイオマス		t		t		
RDF		t		t		
RPF		t		t		
廃タイヤ		t		t		
廃プラスチック(一廃)		t		t		
廃プラスチック(産廃)		t		t		
廃油		kL		kL		
廃棄物ガス		千m <sup>3</sup>		千m <sup>3</sup>		
混合廃材		t		t		
水素		t		t		
アンモニア		t		t		
その他の非化石燃料						
小計 ③						
産業用蒸気		GJ		GJ		
産業用以外の蒸気		GJ		GJ		
温水		GJ		GJ		
冷水		GJ		GJ		
その他		GJ		GJ		
地熱		GJ		GJ		
温泉熱		GJ		GJ		
太陽熱		GJ		GJ		
雪氷熱		GJ		GJ		
その他		GJ		GJ		
小計 ④						
電気事業者からの買電	17	千kWh		千kWh		7.6
上記以外の買電		千kWh		千kWh		
オフサイト型PPA		千kWh		千kWh		
自己託送(非燃料由来の非化石電気)		千kWh		千kWh		
上記以外の自己託送		千kWh		千kWh		
その他		千kWh		千kWh		
自家発電		千kWh		千kWh		
太陽光		千kWh		千kWh		
風力		千kWh		千kWh		
地熱		千kWh		千kWh		
水力		千kWh		千kWh		
その他(非燃料由来の非化石)		千kWh		千kWh		
その他		千kWh		千kWh		
小計 ⑤						7.6
合計 (t-CO <sub>2</sub> ) ⑥=①+②+③+④+⑤						9.0

電気事業者・排出係数(t-CO<sub>2</sub>/kWh): 四国電力 0.000448

←色付きセルのみ入力してください。

変更根拠 必要	単位発熱量		変更根拠 必要	排出係数	
	数値 C	単位		数値	単位
	38.3	GJ/kL		0.0190	t-C/GJ
	34.8	GJ/kL		0.0183	t-C/GJ

単位発熱量及び排出係数を変更するときは、この表の数値を変更してください。

※数値を変更し、【変更根拠必要】欄に○が表示された場合は、変更した根拠を別途添付してください。

34.1	GJ/t		0.0245	t-C/GJ
50.1	GJ/t		0.0163	t-C/GJ
46.1	GJ/千m <sup>3</sup>		0.0144	t-C/GJ
54.7	GJ/t		0.0139	t-C/GJ
38.4	GJ/千m <sup>3</sup>		0.0139	t-C/GJ
28.7	GJ/t		0.0246	t-C/GJ
28.9	GJ/t		0.0245	t-C/GJ
28.3	GJ/t		0.0251	t-C/GJ
26.1	GJ/t		0.0243	t-C/GJ
24.2	GJ/t		0.0242	t-C/GJ
27.8	GJ/t		0.0259	t-C/GJ
29.0	GJ/t		0.0299	t-C/GJ
37.3	GJ/t		0.0209	t-C/GJ
18.4	GJ/千m <sup>3</sup>		0.0109	t-C/GJ
3.23	GJ/千m <sup>3</sup>		0.0264	t-C/GJ
3.45	GJ			
7.53	GJ			

都市ガスの排出係数は、各自入力ください。

※ガス事業者が公表する基礎排出係数を入力ください。

都市ガスの排出係数は、各自入力ください。ガス事業者名 **四国ガス**

変更根拠 必要	単位発熱量		変更根拠 必要	排出係数	
	数値 C	単位		数値	単位
	26.9	GJ/t		0.0166	t-C/GJ
	33.2	GJ/t		0.0135	t-C/GJ
	29.3	GJ/t		0.0257	t-C/GJ
	29.3	GJ/t		0.0239	t-C/GJ
	40.2	GJ/kL		0.0179	t-C/GJ
	21.2	GJ/千m <sup>3</sup>		0.0000	t-C/GJ
	17.1	GJ/t		0.0000	t-C/GJ
	142.0	GJ/t		0.0000	t-C/GJ
	22.5	GJ/t		0.0000	t-C/GJ

単位発熱量及び排出係数を変更するときは、この表の数値を変更してください。

※数値を変更し、【変更根拠必要】欄に○が表示された場合は、変更した根拠を別途添付してください。

0.0654	t-CO <sub>2</sub> /GJ
	t-CO <sub>2</sub> /GJ
	t-CO <sub>2</sub> /GJ

産業用以外の蒸気、温水、冷水の排出係数は、各自入力ください。その他使用した熱で、販売した量がある場合は排出係数を入力してください。

電気事業者から買電している場合は、電気事業者名、排出係数、年間使用量を入力してください。年間使用量が17,000kWhの場合は単位が千kWhのため「17」と入力し

No.	電気事業者名	排出係数 (t-CO <sub>2</sub> /kWh)	実数値 (千kWh)	CO <sub>2</sub> 排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
1	四国電力	0.000448	17	7.616
2				
3				
4				
合計			17	7.616

電気のうち、上記以外の買電、自家発電

	排出係数 (t-CO <sub>2</sub> /kWh)
オフサイト型PPA	
自己託送(非燃料由来の非化石電気)	
自己託送	
その他	
太陽光	0.0000
風力	0.0000
地熱	0.0000
水力	0.0000
自家発電(その他(非燃料由来の非化石))	
自家発電(その他)	

排出係数は、各自入力ください。

ガス事業者、熱供給事業者、電気事業者の排出係数は毎年変更となります。下記サイトで、提出年ごとに公表されているので確認してください。  
<https://policies.env.go.jp/earth/ghg->

【別表 5】

(令和 7 年度)

事業所名	自動車 エネルギー使用量・台数													
	ガソリン (kL)			軽油 (kL)			LPG (t)			都市ガス (CNG) (千m <sup>3</sup> )			その他	
	台数(台)			台数(台)			台数(台)			台数(台)			台数(台)	
	総台数	軽自動車除く		総台数	軽自動車除く		総台数	軽自動車除く		総台数	軽自動車除く		総台数	軽自動車除く
〇〇事業所	1.75	1	1											
事業所で使用しているガソリン燃料の普通乗用車が1台あり、ガソリンを年間1,750L使用している場合は、単位がkLのため「1.75」と入力														
合計	1.75	1	1											

エネルギーの種類	エネルギー使用量			単位発熱量		二酸化炭素排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
	数値 A	単位	熱量 (GJ) B=A×C	数値 C	単位	
ガソリン	1.75	kL	58.45	33.4	GJ/kL	4.01
軽油		kL		38.0	GJ/kL	
LPG		t		50.1	GJ/t	
				排出係数		
				数値 D	単位	
都市ガス (CNG)		千m <sup>3</sup>			t-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>	
合計						4.01

※ LPGの液体密度は、一般に0.50~0.60kg/lですが、デフォルト値として0.56kg/lを用いても構いません。

- (数値把握の方法) 該当する数値把握の方法にチェック
- 燃料法 (直接、燃料使用量を把握する方法) によるもの
  - 燃費法 (車両の燃費と走行距離により燃料使用量を把握する方法) によるもの
  - その他の方法 (  )

集計表

区分	令和 7 年度 (t-CO <sub>2</sub> )
エネルギー起源二酸化炭素の排出量 (別表 2 又は別表 6)	8
自動車の使用に伴って発生する二酸化炭素の排出量 (別表 5)	4
エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出量	
合計	12